

2018年度決算(案) 説明資料

相互会社としての使命	・ ・ ・ ・ ・ P1	資産運用の状況(富国生命単体)	・ ・ ・ ・ ・ P9
100周年に向けて	・ ・ ・ ・ ・ P2	基礎利益の状況(2社合算)	・ ・ ・ ・ ・ P10
経営の差別化の歴史	・ ・ ・ ・ ・ P3	健全性の状況	・ ・ ・ ・ ・ P11
中期経営計画について(2019~2021年度)	・ ・ ・ ・ ・ P4	オンバランスの自己資本強化と継続的なリスク・マネジメント	・ ・ P12
2018年度決算(案)のポイント	・ ・ ・ ・ ・ P5	2018年度決算(案)にもとづく社員配当金	・ ・ ・ ・ ・ P13
保険業績の状況(2社合算)	・ ・ ・ ・ ・ P6 ~ P7	(ご参考)主要業績	・ ・ ・ ・ ・ P14 ~ P17
保険料等収入の状況(2社合算)	・ ・ ・ ・ ・ P8		

2019年5月24日

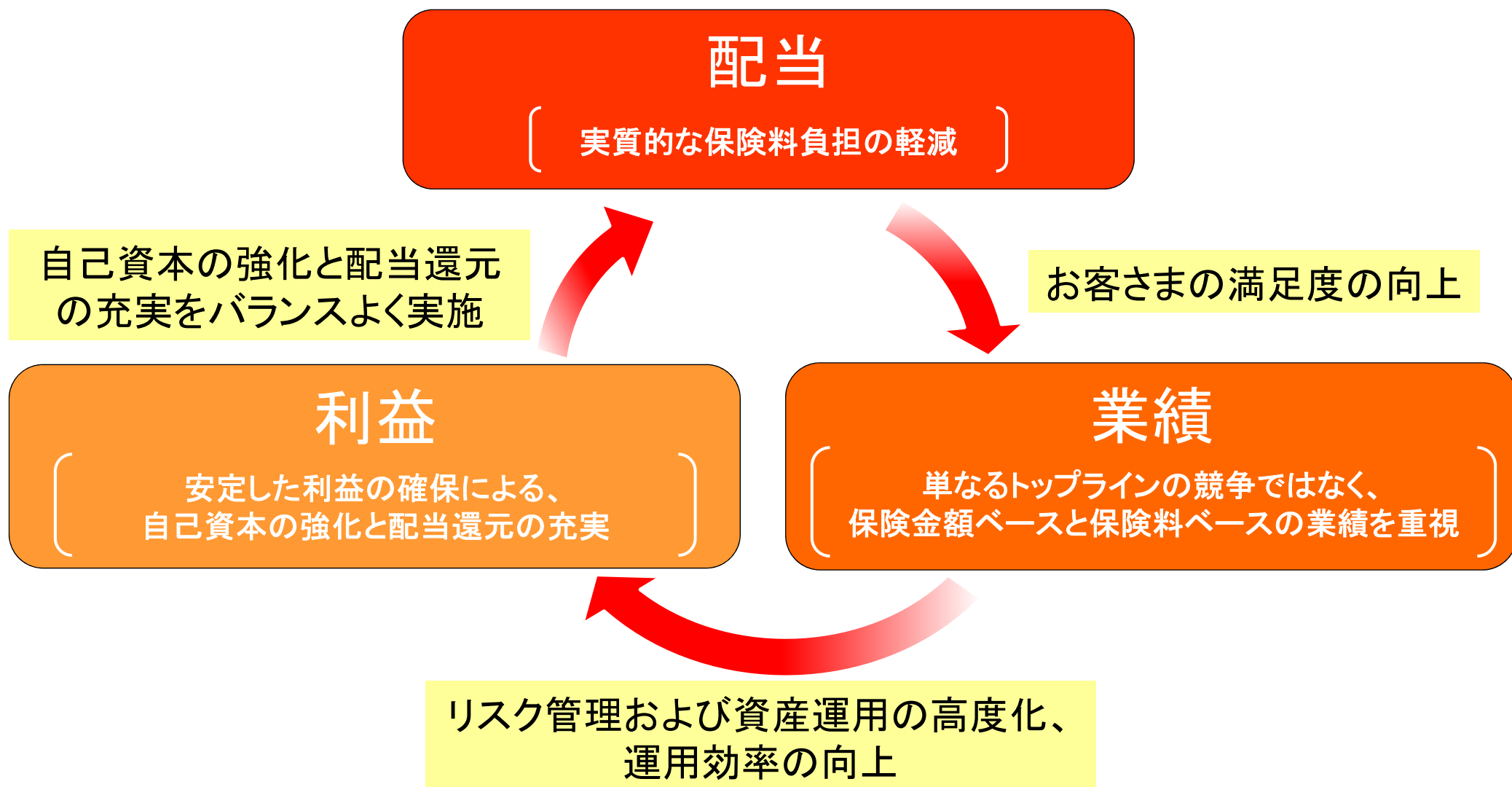
富国生命保険相互会社



すてきな未来応援します

フコク生命

相互会社としての使命



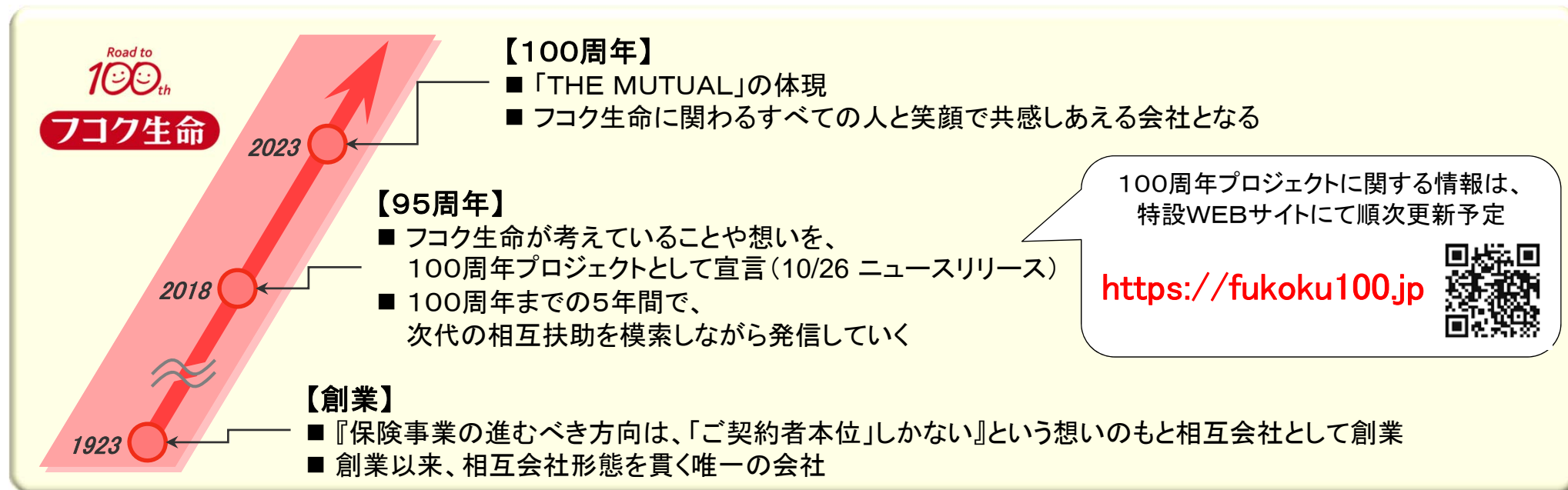
安定した利益を確保し、配当還元の充実を通じてご契約者の実質的な保険料負担の軽減を図ることが相互会社としての使命であり、保険会社としていかなる時にも保険金等を確実にお支払いすることが最も重要な責務であると考え、実践しております。

THE MUTUAL

次代の“相互扶助”を考える

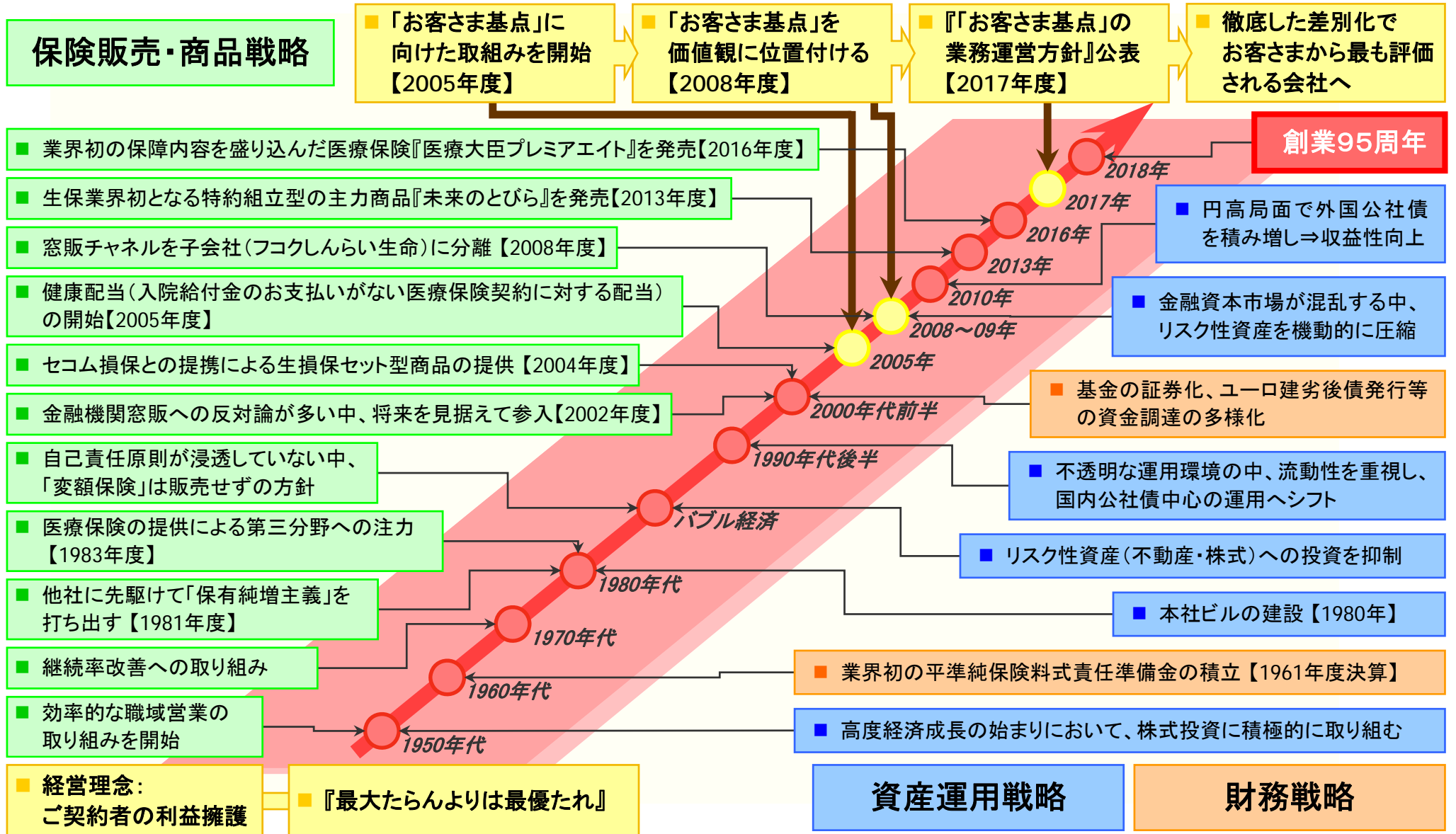
「THE MUTUAL」(ザ・ミューチュアル)とは
次の100年に向け進化させた次代の“相互扶助”のこと
そして、フコク生命に関わるすべての人のつながりを深め支えあい
真の“相互扶助”を体現する組織を目指すフコク生命の決意

【創業から100周年に向けて】



経営の差別化の歴史

自主独立路線のもと、経営の差別化を図る



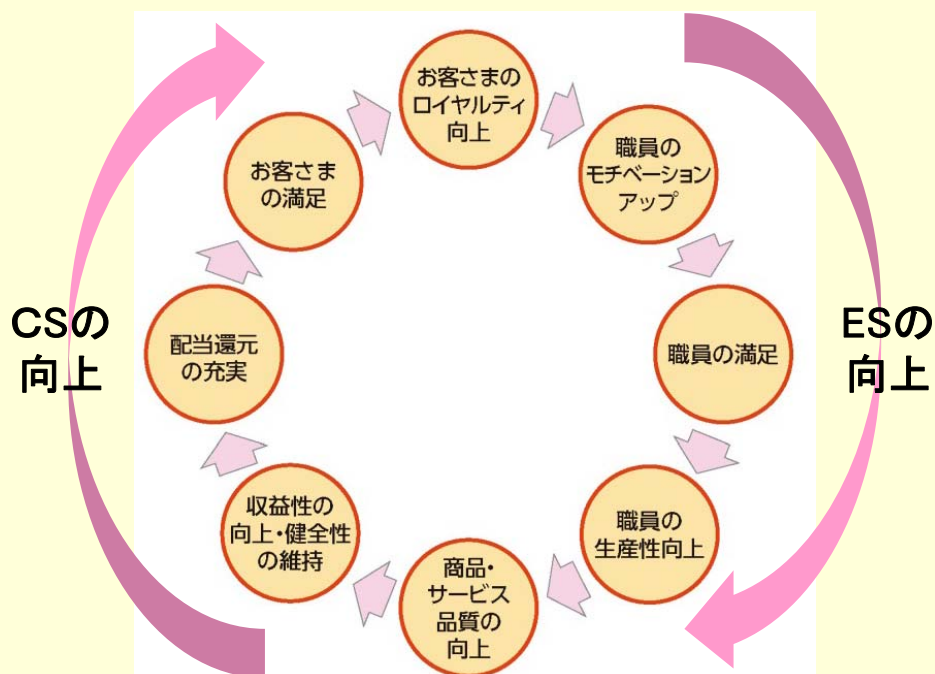
中期経営計画について(2019~2021年度)

【中期経営計画ビジョン】

徹底した差別化でお客さまから最も評価される会社となる

主要なテーマ

持続的成長のための好循環の構築



長期経営ビジョン(お客さま満足度No.1の生保会社となる)実現に向けた取り組み

- ① 人口動態の変化に対応した国内市場における持続可能なビジネスモデルの構築
陣容構築・営業職員チャネルの高度化に向けた抜本的な改革の推進
- ② 他社(異業種)との連携・協業による差別化された商品・サービスの提供
- ③ Face to Faceを引き続き行っていくためのIT投資・フィンテックの活用

2018年度決算(案)のポイント

個人保険は7年連続増配

- ◆ 健康志向の高まりを先取りし、2005年度決算から実施している健康配当※を、2018年度決算(案)では増配
 - ◆ 医療保険の配当総額は本増配により2億円増加して33億円
- ※入院給付金のお支払いがない医療保険契約に対する配当

新契約高・新契約年換算保険料は増加

- ◆ 富国生命、フコクしんらい生命合算の新契約高は、前年度比14.7%増加の1兆6,375億円
- ◆ 2社合算の新契約年換算保険料も、前年度比9.6%増加の178億円

第三分野の保有契約年換算保険料は15年連続増加

- ◆ 2社合算の保有契約年換算保険料は、富国生命、フコクしんらい生命ともに減少したものの、第三分野については前年度末比1.2%増加の1,138億円となり、開示以来15年連続で増加

基礎利益は6年連続900億円台を確保

- ◆ 2社合算の基礎利益は、過去最高であった前年度からは7.3%減少したものの、912億円と6年連続900億円台を確保

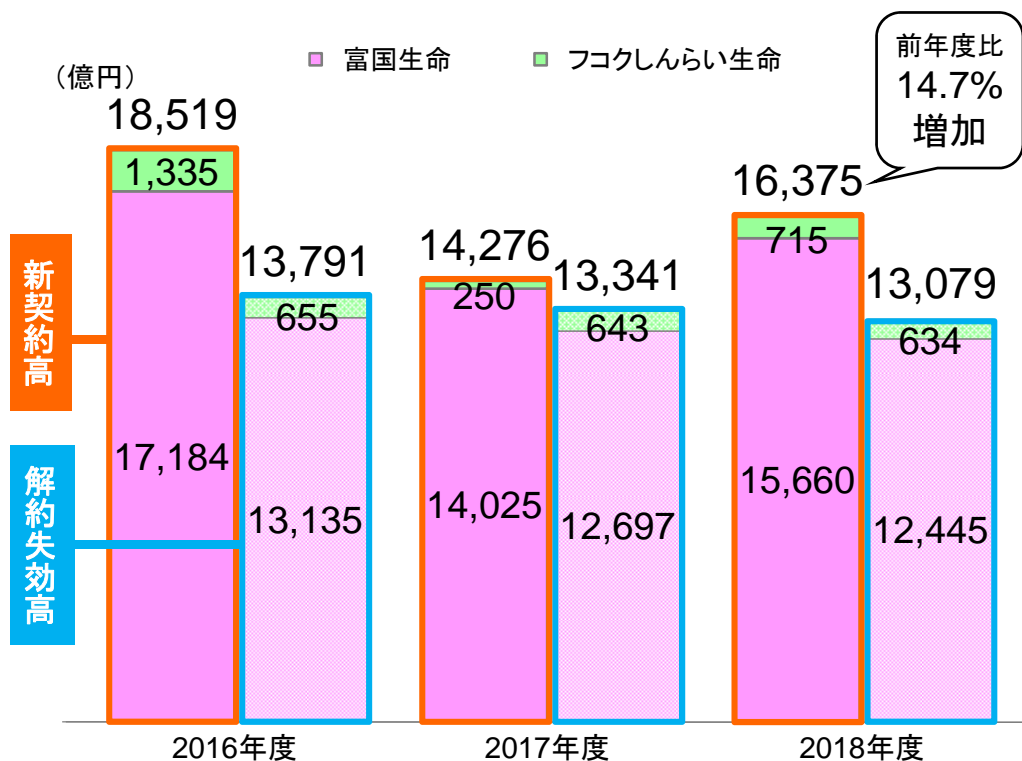
連結ソルベンシー・マージン比率は1,236.4%

- ◆ 連結ソルベンシー・マージン比率は、前年度末から109.0ポイント上昇しており、引き続き高い水準を維持

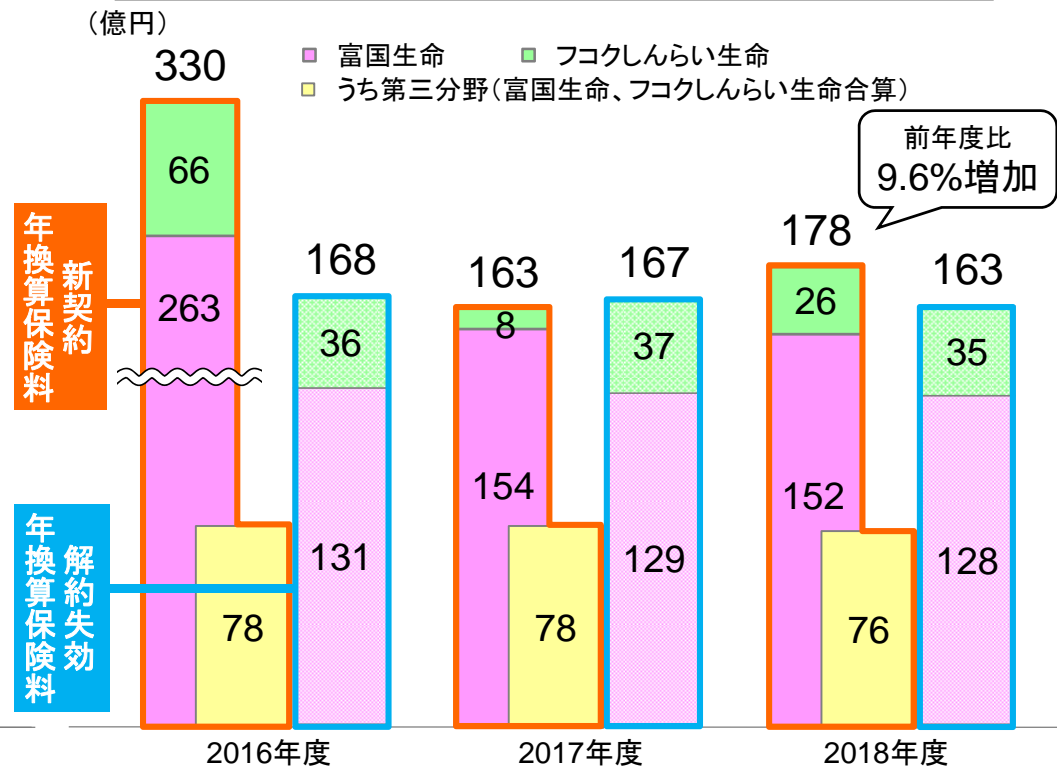
保険業績の状況(2社合算) ～新契約・解約失効～

※個人保険と個人年金の合計

新契約高・解約失効高の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



新契約・解約失効年換算保険料の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



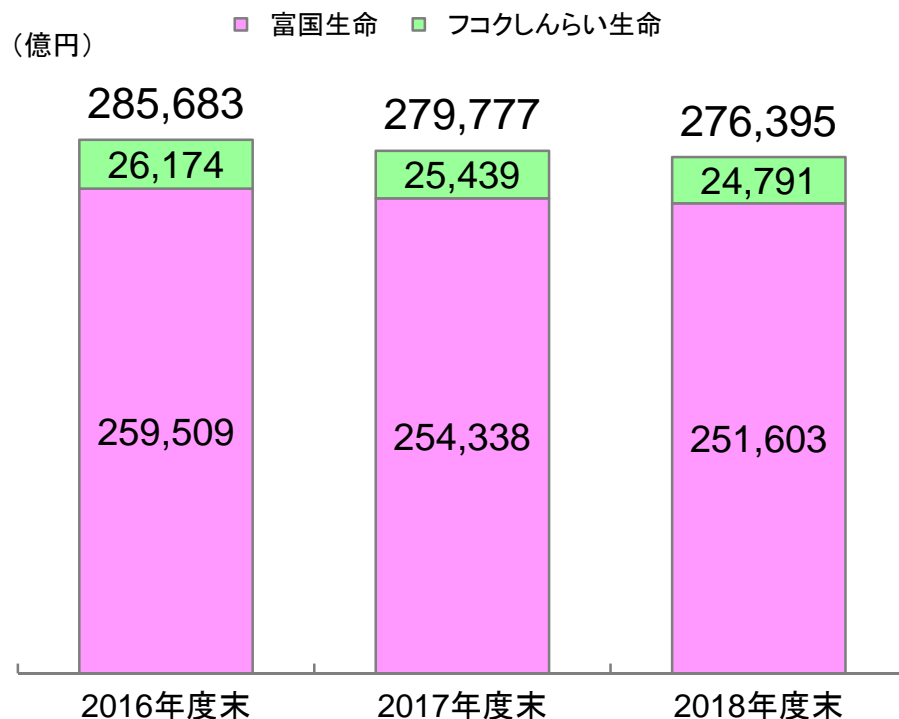
- 新契約高は富国生命、フコクしんらい生命ともに増加し、前年度比14.7%増加
- 解約失効高は前年度比2.0%減少し、引き続き改善

- 新契約年換算保険料は前年度比9.6%増加
- 解約失効年換算保険料は前年度比2.3%減少し、引き続き改善

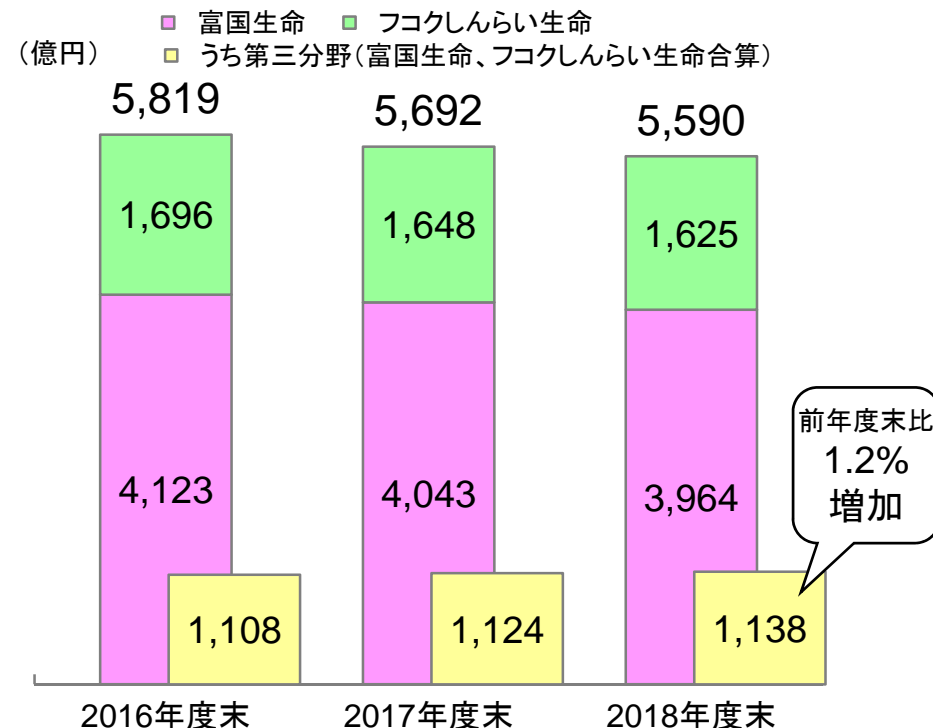
保険業績の状況(2社合算) ～保有契約～

※個人保険と個人年金の合計

保有契約高の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



保有契約年換算保険料の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)

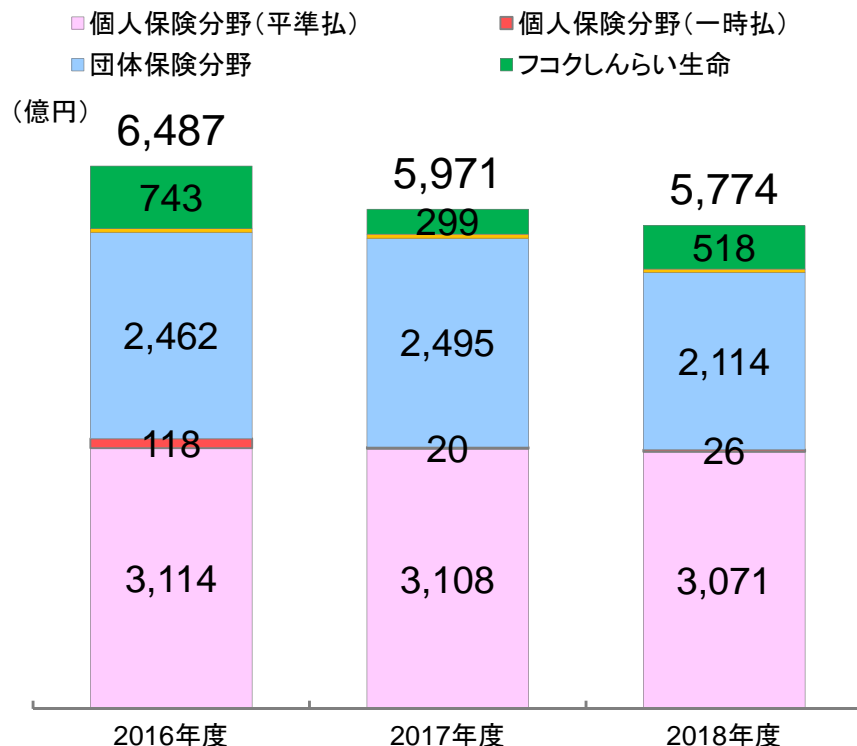


- 保有契約高は前年度末比1.2%減少したものの、減少幅は縮小
- 保有契約高の反転増加に向けて引き続き取り組む

- 保有契約年換算保険料は、富国生命、フコクしんらい生命ともに減少し、前年度末比1.8%減少
- うち、第三分野の保有契約年換算保険料は前年度末比1.2%増加の1,138億円

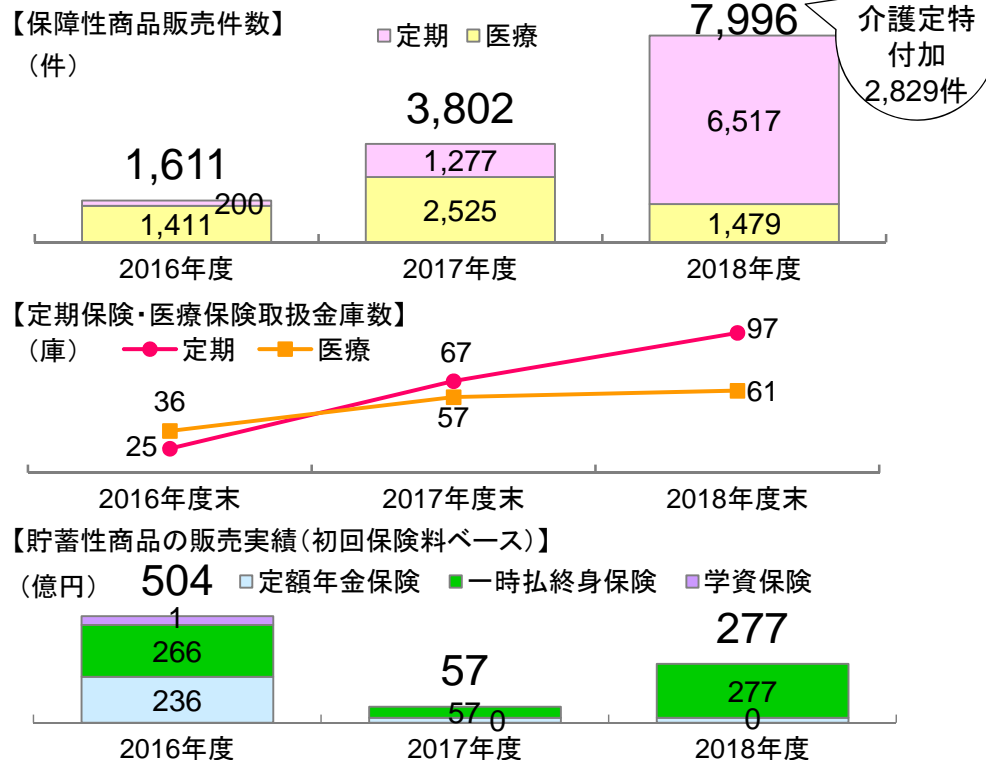
保険料等収入の状況(2社合算) ～保険料等収入・金融機関窓販～

保険料等収入の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



- 保険料等収入は、富国生命の団体年金保険の減少などにより前年度比3.3%減少
- 富国生命の個人保険分野の平準払は安定的に推移

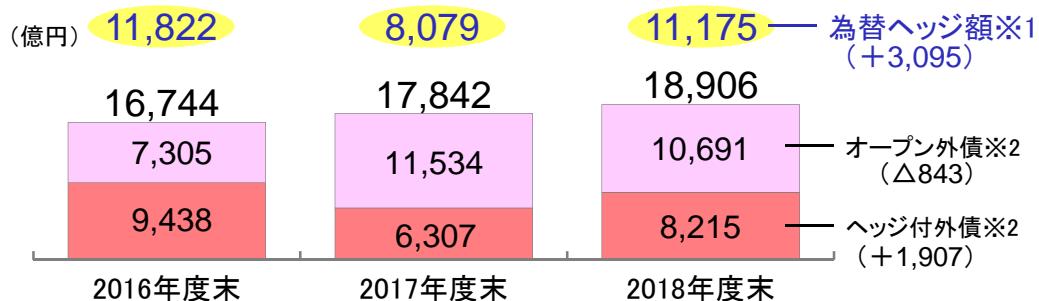
金融機関による保険販売の状況 (フコクしんらい生命)



- 保障商品は、2018年4月から信用金庫業界初の「認知症診断給付金付介護保障定期保険特約」を発売したこともあり、大きく伸展
- 2018年10月に発売した「利率更改型一時払終身保険」により、販売実績が大きく伸展
- 今後も保障商品の販売に注力しつつ、貯蓄性商品もバランスよく販売していく

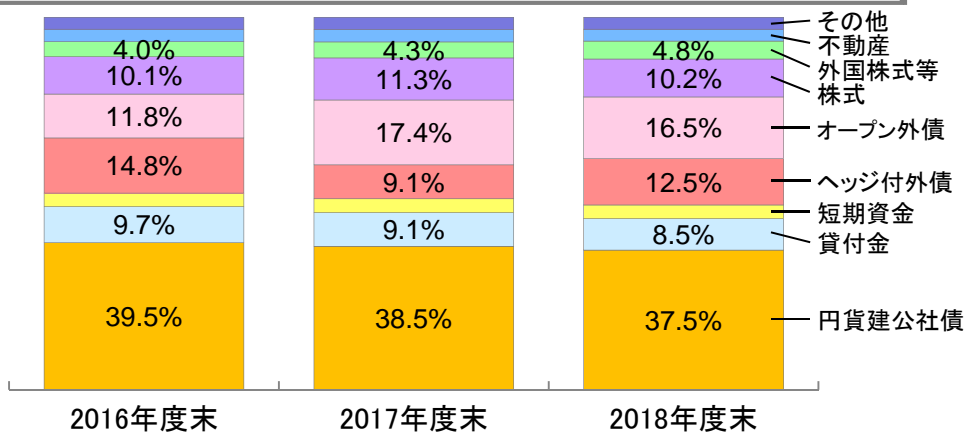
資産運用の状況(富国生命単体)

外貨建公社債(帳簿価額)の内訳

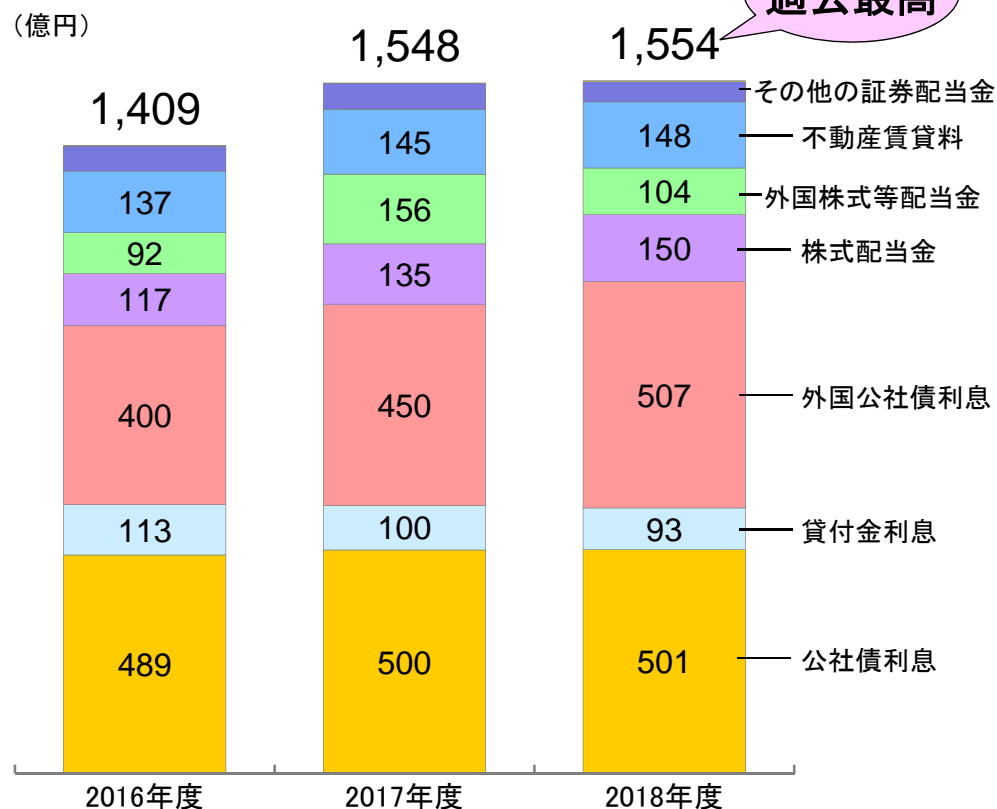


※1 通貨関連デリバティブ取引のうち為替予約(売建)と通貨オプション(プット買建)の契約額
 ※2 損益計算書に計上した外貨建公社債の評価損益・為替換算損益を控除したもの

一般勘定資産の資産構成比(BSベース)



利息及び配当金等収入※の状況

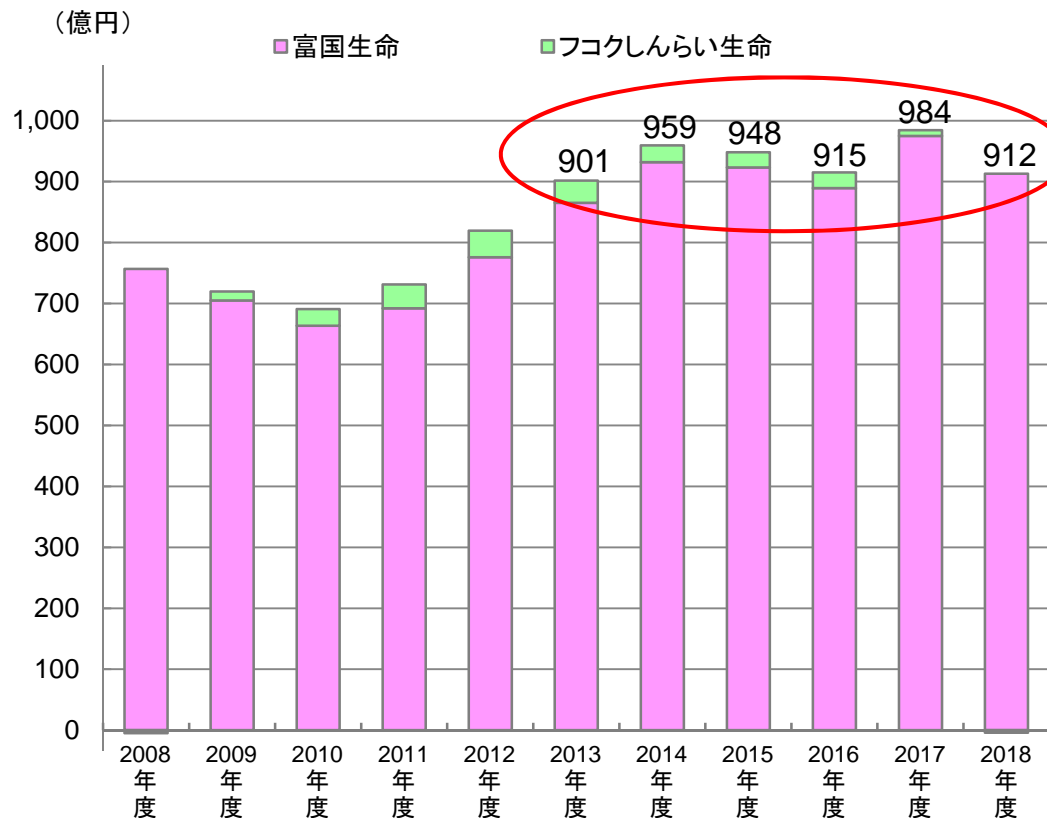


※売買目的有価証券運用益(損)に含まれる利息及び配当金等収入を含む

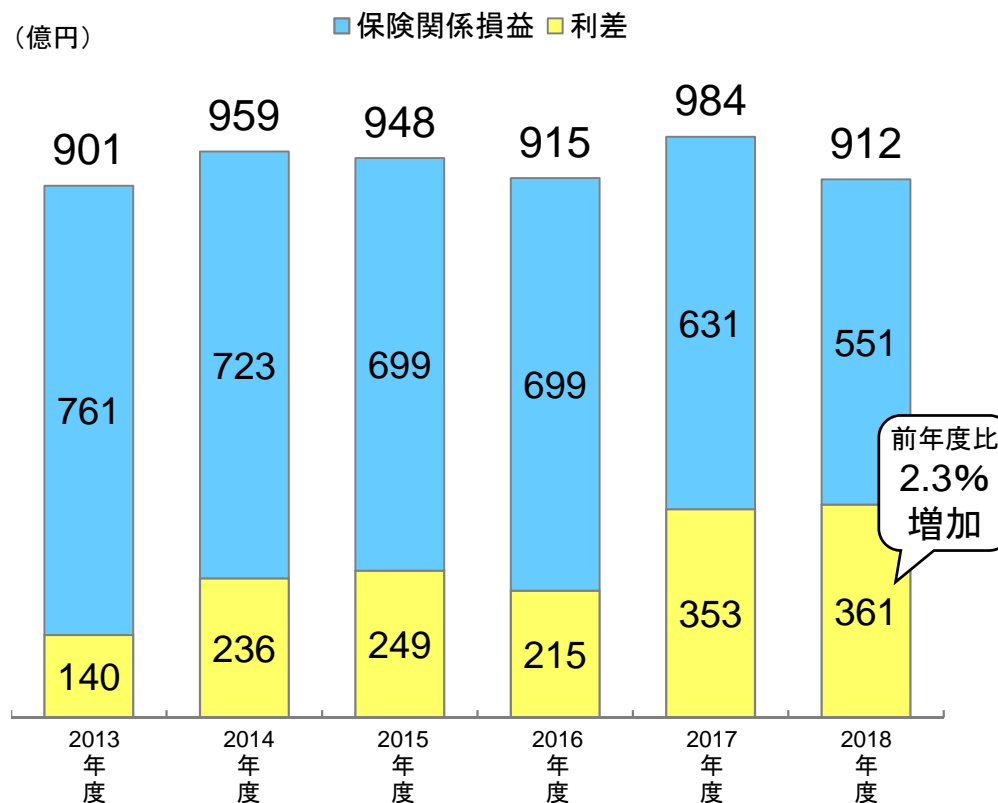
- 自己資本の充実に応じたリスクテイクにより収益性向上を図るため、内外金利差の拡大トレンドを背景にオープン外債中心の投資を実施してきた
- 海外主要中央銀行が金融政策正常化に対し慎重な姿勢に転じたことから戦略を見直し、ヘッジ付外債を購入したほか、既保有のオープン外債にヘッジを付し為替リスクを圧縮
- 利息及び配当金等収入は1,554億円と1992年度以来26年ぶりに過去最高を更新

基礎利益の状況(2社合算)

基礎利益の推移



基礎利益の内訳

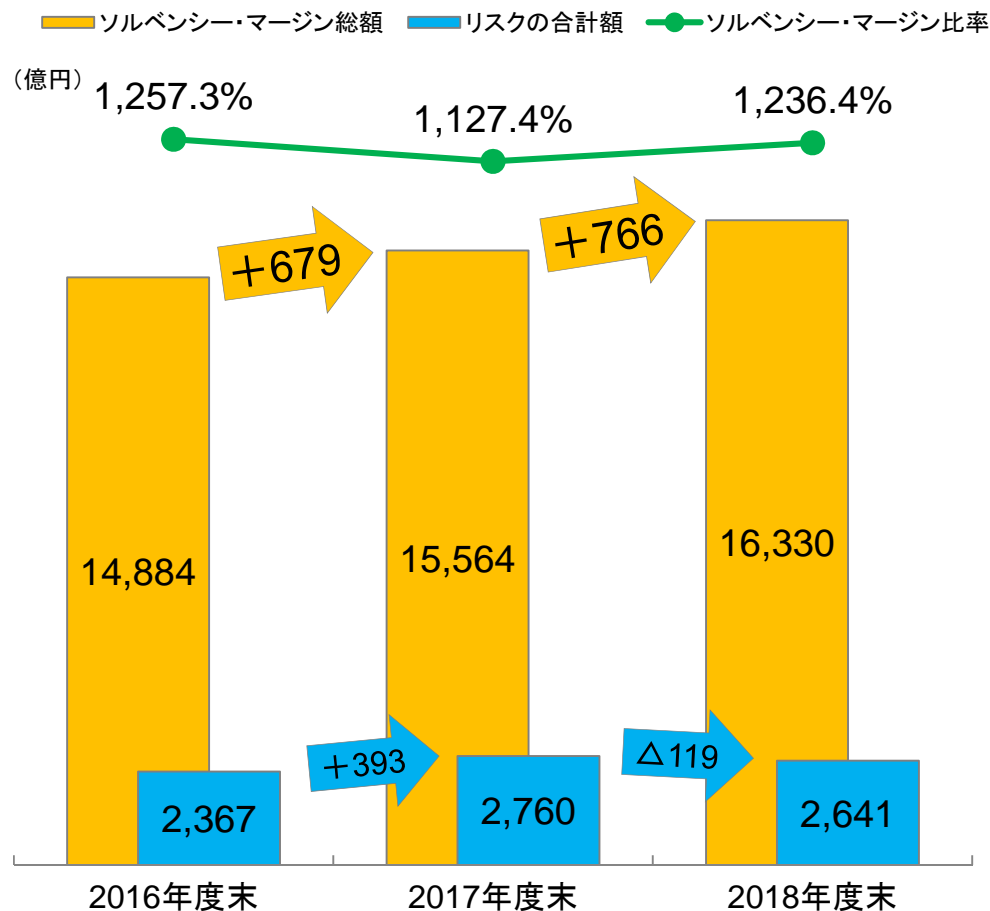


- 2社合算の基礎利益は、過去最高であった前年度からは7.3%減少したものの、912億円と6年連続900億円台を確保

- 危険差益は安定的に推移しているものの、大型システム開発投資の減価償却費などにより費差損が拡大し保険関係損益は減少
- 利差益は、利息及び配当金等収入の増加により前年度比2.3%増加

健全性の状況

ソルベンシー・マージン比率の推移(連結)



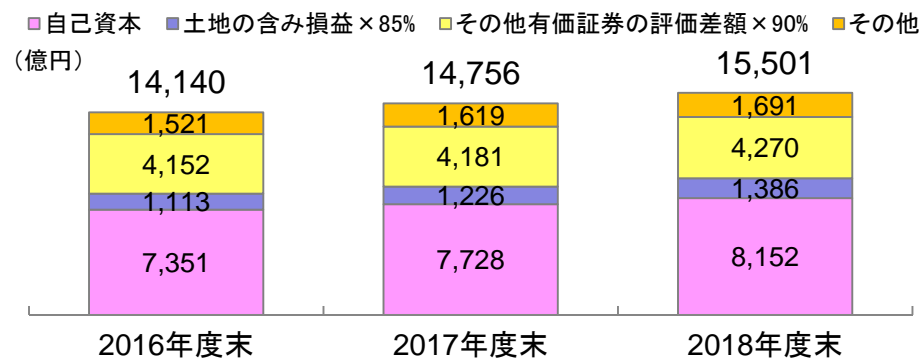
- 連結ソルベンシー・マージン比率は、前年度末から109.0ポイント上昇し、1,236.4%と引き続き高い水準を維持

ソルベンシー・マージン比率の推移(単体)

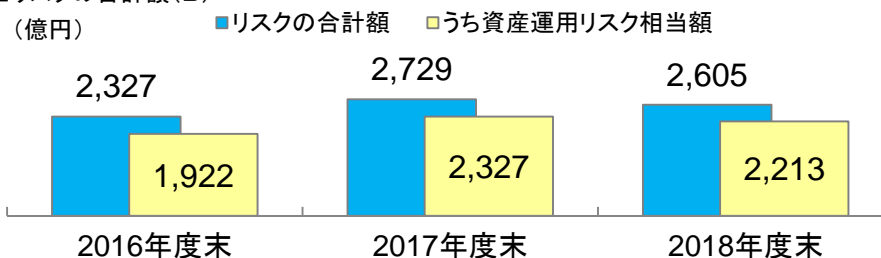
■ソルベンシー・マージン比率

項目	2016年度末	2017年度末	2018年度末
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,214.8%	1,081.2%	1,189.7%

■ソルベンシー・マージン総額(A)



■リスクの合計額(B)

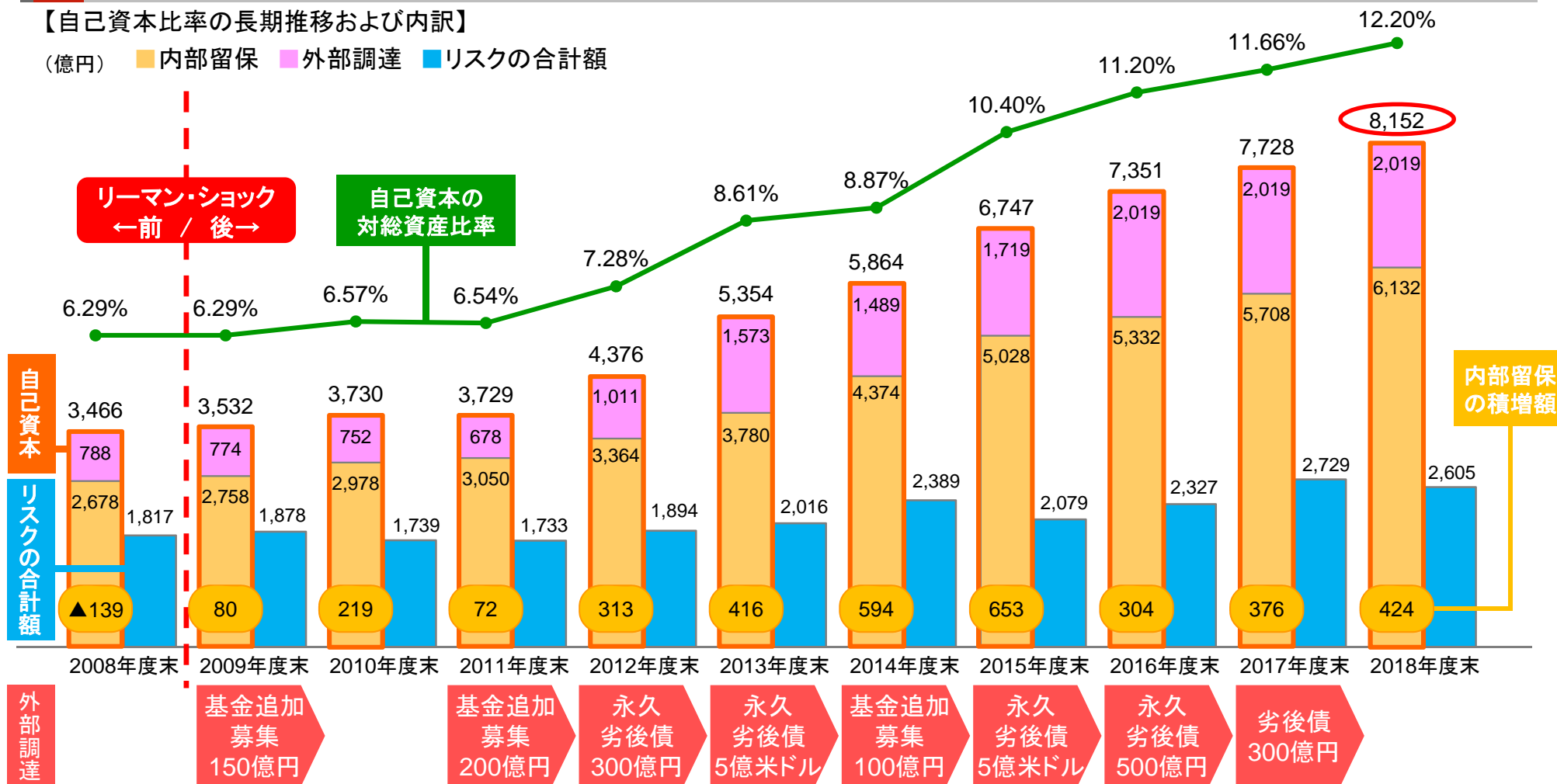


- マージン総額が内部留保の積増しなどで増加したことに加え、為替ヘッジ比率の引き上げなどにより資産運用リスク相当額が減少し、前年度末から108.5ポイント上昇の1,189.7%

オンバランスの自己資本強化と継続的なリスク・マネジメント(富国生命単体)

【自己資本比率の長期推移および内訳】

(億円) ■ 内部留保 ■ 外部調達 ■ リスクの合計額



- 経常益による内部留保の積上げを第一義とし、適時、外部調達を行うことで自己資本を強化
- 自己資本の充実度に応じたリスクテイクのもと、収益力の向上を図る
- 2018年度決算においては内部留保を424億円積増し

2018年度決算(案)にもとづく社員配当金

■ 個人保険・個人年金保険

- 個人保険について7年連続の増配。
- 当社は健康志向の高まりを先取りし入院給付金のお支払いがない医療保険契約に対する配当(健康配当)を2005年度決算から実施。今期はこの健康配当を増配。
- 医療保険の配当総額は本増配により2億円増加して33億円。増配対象契約は104万件。
- 当社の医療保険は5年ごとに配当をお支払いするタイプが中心であり、2019年度にお支払いする医療保険の配当金は平均すると1件当たり9,000円程度。
- 有配当契約の約7割(267万件)に割当て。

■ 例1 医療パック特約組立型総合保険

[入院給付金のお支払いがない契約の場合]

40歳加入、男性、10年更新型、口座振替月払

- ① 特約組立型総合保険(5年ごと配当)
死亡保険金2,000万円、介護保険金300万円、就業不能年金140万円
- ② 医療大臣プレミア(5年ごと配当)
入院日額6千円

加入年度 (経過年数)	月払保険料	2019年度の 受取配当金(案)	[増配額]	保険料に対する 配当金の割合※
2014年度 (5年)	12,494円	27,374円	[180円]	5%
うち医療保険	2,562円	7,969円	[180円]	5%

■ 例2 医療パック定期付新積立型介護保険

[入院給付金のお支払いがない契約の場合]

40歳加入、男性、10年更新型、口座振替月払

- ① 定期付積立型介護保険(5年ごと利差配当)
死亡保険金3,000万円+新積立型介護保険の死亡給付金、
介護保険金50万円
- ② 医療大臣プレミア(5年ごと配当)
入院日額6千円

加入年度 (経過年数)	月払保険料	2019年度の 受取配当金(案)	[増配額]	保険料に対する 配当金の割合※
2009年度 (10年)	14,402円	82,182円	[240円]	11%
うち医療保険	2,568円	10,419円	[240円]	7%

※(2015年度～2019年度の5年間の受取配当金)÷(2014年度～2018年度の5年間の保険料)

相互会社である当社は、今後とも強固な財務基盤を維持しながら、配当還元の充実を通じてお客さまの
実質的な保険料負担の軽減をさらに進める。

(ご参考) 主要業績①

保有契約の状況(富国生命、フコクしんらい生命合算)

個人保険(個人保険+個人年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	2017年度末		2018年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	238,647	98.3	237,267	99.4
個人年金保険	41,130	96.1	39,128	95.1
保有契約高	279,777	97.9	276,395	98.8

新契約高・解約失効高 (単位: 億円、%)

	2017年度		2018年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	14,052	85.8	16,153	115.0
個人年金保険	223	10.4	221	99.3
新契約高	14,276	77.1	16,375	114.7
解約失効高	13,341	96.7	13,079	98.0
(解約失効率)	(4.67%)	△ 0.12 ポイント	(4.67%)	0.00 ポイント

保有契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	2017年度末		2018年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	3,151	98.8	3,139	99.6
個人年金保険	2,540	96.7	2,450	96.4
保有契約年換算保険料合計	5,692	97.8	5,590	98.2
うち医療保障・生前給付保障等	1,124	101.5	1,138	101.2

新契約年換算保険料・解約失効年換算保険料 (単位: 億円、%)

	2017年度		2018年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	156	64.9	172	110.2
個人年金保険	6	7.5	6	97.1
新契約年換算保険料合計	163	49.4	178	109.6
うち医療保障・生前給付保障等	78	99.8	76	97.0
解約失効	167	99.5	163	97.7
(解約失効率)	(2.88%)	△ 0.04 ポイント	(2.88%)	△ 0.00 ポイント

団体保険(団体保険、団体年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	2017年度末		2018年度末	
		前年度末比		前年度末比
団体保険	173,772	99.6	174,984	100.7
団体年金保険	21,803	101.1	21,890	100.4

(ご参考) 主要業績②

保有契約の状況(富国生命単体)

個人保険(個人保険+個人年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	2017年度末		2018年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	227,653	98.3	226,080	99.3
個人年金保険	26,684	95.6	25,523	95.6
保有契約高	254,338	98.0	251,603	98.9

新契約高・解約失効高 (単位: 億円、%)

	2017年度		2018年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	13,814	88.5	15,445	111.8
個人年金保険	211	13.3	215	101.9
新契約高	14,025	81.6	15,660	111.7
解約失効高	12,697	96.7	12,445	98.0
(解約失効率)	(4.89%)	△ 0.12 ポイント	(4.89%)	0.00 ポイント

団体保険(団体保険、団体年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	2017年度末		2018年度末	
		前年度末比		前年度末比
団体保険	170,732	99.5	173,064	101.4
団体年金保険	21,803	101.1	21,890	100.4

保有契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	2017年度末		2018年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	2,747	98.8	2,724	99.2
個人年金保険	1,296	96.5	1,240	95.7
保有契約年換算保険料合計	4,043	98.1	3,964	98.0
うち医療保障・生前給付保障等	1,107	101.4	1,120	101.2

新契約年換算保険料・解約失効年換算保険料 (単位: 億円、%)

	2017年度		2018年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	148	69.9	146	98.5
個人年金保険	6	12.2	6	100.1
新契約年換算保険料合計	154	58.8	152	98.6
うち医療保障・生前給付保障等	77	99.2	74	96.6
解約失効	129	98.8	128	99.0
(解約失効率)	(3.15%)	△ 0.08 ポイント	(3.18%)	0.03 ポイント

(ご参考) 主要業績③

収支の状況

保険関係収支

(富国生命、フコクしんらい生命合算) (単位: 億円、%)

	2017年度		2018年度	
		前年度比		前年度比
保険料等収入	5,971	92.1	5,774	96.7
うち個人保険分野	3,418	86.2	3,606	105.5
うち団体保険分野	2,504	101.3	2,122	84.8

(富国生命単体) (単位: 億円、%)

	2017年度		2018年度	
		前年度比		前年度比
保険料等収入	5,672	98.7	5,256	92.7
うち個人保険分野	3,129	96.8	3,097	99.0
うち団体保険分野	2,495	101.3	2,114	84.7
保険金等支払金	5,011	102.5	4,679	93.4

(注) 保険料等収入の個人保険分野は個人保険と個人年金保険、団体保険分野は団体保険と団体年金保険の合計額を、それぞれ記載しています。

【金融機関による保険販売の状況】(フコクしんらい生命実績)

(単位: 件、億円、%)

	2017年度		2018年度	
		前年度比		前年度比
新契約件数	5,469	20.5	15,119	276.4
保険料	57	11.4	277	482.6

※平準払契約については初回保険料の単純合計

資産運用関係収支

(富国生命単体) (単位: 億円、%)

	2017年度		2018年度		
		前年度比		前年度比	
一般勘定	資産運用収益	1,670	107.0	1,825	109.2
	うち利息及び配当金等収入	1,492	111.0	1,511	101.3
	資産運用費用	396	88.9	485	122.6
	資産運用関係収支	1,274	114.2	1,339	105.1
特別勘定資産運用損益	65	162.2	9	14.7	

基礎利益

(富国生命単体) (単位: 億円)

	2017年度	2018年度
基礎利益 A	974	912
危険差+費差	650	579
利差	324	333
キャピタル損益 B	△ 114	△ 46
臨時損益 C	△ 295	△ 333
経常利益 A+B+C	564	533

(富国生命、フコクしんらい生命合算) (単位: 億円)

	2017年度	2018年度
基礎利益	984	912

(ご参考) 主要業績④

資産・健全性の状況

資産の構成

(富国生命単体) (単位: 億円、%)

区 分	2017年度末		2018年度末	
	金額	占率	金額	占率
総 資 産	66,266		66,845	
うち一般勘定資産	65,442	100.0	66,129	100.0
うち 公 社 債	28,186	43.1	27,820	42.1
うち 株 式	7,408	11.3	6,725	10.2
うち 外国証券	17,138	26.2	19,306	29.2
うち 貸 付 金	5,937	9.1	5,611	8.5

含み損益の状況(一般勘定)

(富国生命単体) (単位: 億円)

区 分	2017年度末	2018年度末
	差 損 益	差 損 益
有 価 証 券 合 計	7,624	7,855
うち 公 社 債	3,560	3,900
うち 株 式	3,664	3,042
うち 外国証券	211	733
不 動 産 (土地・借地権)	1,286	1,454
合 計	8,911	9,309

健全性を示す指標

(富国生命単体) (単位: 億円)

項 目	2017年度末	2018年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	14,756	15,501
リスクの合計額 (B)	2,729	2,605
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,081.2%	1,189.7%

(単位: 億円)

	2017年度末	2018年度末
実 質 純 資 産 額	16,903	17,795
対一般勘定資産比率	25.8%	26.9%

(連結ベース) (単位: 億円)

項 目	2017年度末	2018年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	15,564	16,330
リスクの合計額 (B)	2,760	2,641
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,127.4%	1,236.4%

(単位: 億円)

	2017年度末	2018年度末
実 質 純 資 産 額	19,034	20,010